

ハッピー・メリー・クリスマス ～身近な材料でクリスマスリースを作ろう～

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



11 住み続けられる
まちづくりを



キーワード サーラ音楽ホール クリスマス 自然 再利用・リサイクル

○取り組んだきっかけ

2021年4月サーラ音楽ホール開館に伴い、常葉大学との連携事業がスタートしました。連携事業の一環として、健康プロデュース学部こども健康学科の学生も、参加することになり、絵本研究をしている阿部ゼミ学生が絵本に関するワークショップに取り組んだことがきっかけです。ワークショップ2回目には地域の親子向けにクリスマスリースづくりを行いました。

○活動の目的

キャンパス内の自然物や包装用のリボンなど、廃棄してしまう物の再利用を考え、室内を装飾する飾りを制作する体験を通して、物の大切さを学び創意工夫を楽しむことができます。リースづくりを通して、森や樹木があるからこそ出来る遊びを地域の子どもたちとその保護者の皆様に伝えていくことを目的としました。

○具体的な内容

キャンパス内の木の実、剪定した枝、落ち葉、道路に落ちている松ぼっくり、リボン、毛糸などを素材として準備し、親子でクリスマスリースづくりを楽しみました。松ぼっくりや、どんぐりなどの木の実は自然のものなので、洗浄や煮沸等の下処理をしました。当日は、用意しておいたリースの土台に、親子の自由な発想で飾り付けを行い、コミュニケーションも楽しみながらクリスマスリースを完成させました。作業の前後にはクリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせも行いました。出来上がったリースは、大学図書館で廃棄予定の英字新聞を譲り受けて手提げ袋を作成し、出来上がった作品を入れて持ち帰りました。

○期待される効果

落ちている松かさや木の実などを洗って乾かし加工したら、新しいものに生まれ変わることを体験する事で、実際に地域の自然物に触れ、その恩恵を感じ環境問題に関する知識を深めることもできます。また、そのままでゴミとなるものも再利用する事で廃棄物の減量にもつながり、幼児や小学生へのSDGsの啓発となることが期待されます。



教員名

阿部眞弓

所属学部・学科

健康プロデュース学部
こども健康学科

職位

特任講師

連携先 浜松市